

関西団地軟式少年野球選手権大会規定

本規定は関西団地軟式少年野球連盟及びデイリースポーツが、団地少年の健全なる体育活動と交歓親善を目的として開催する「関西団地軟式少年野球選手権大会」の円滑なる運営を図るため、関西団地軟式少年野球連盟規約を準拠、大会役員・関係者ならびに出場チームの相互確認を厳守する事項として設けるものとする。

1. 大会参加資格と選手登録

- (1) 連盟規約第3条の条件を備え、第8条により所定の書式をもって登録、総会時に連盟費を納入することとする。
また、連盟が指定した大会に特別参加するチームは所定の書式をもって登録を行い期日までに所定の大会費参加費を納入することとする。
- (2) 登録選手は小学生とする。
- (3) 年間登録は25名以内、大会登録は20名以内とする。
- (4) 新人戦については年度諸大会参加の如何を問わず9月の開催前に登録することとする。

2. 試合運行について

- (1) ルールは「公認野球規則」「全日本軟式野球連盟競技者必携／学童野球に関する事項」に従う。
ローカルルールを採用する場合は、試合前に審判員より説明を行う。
- (2) 6回戦とし1時間30分を過ぎて新しいイニングに入らない。
- (3) 使用球は連盟指定球（内外C号）を使用する。
- (4) 延長戦は時間内（90分）において認める。ただし最大9回までとし最終回同点の場合は抽選（9人の抽選）で勝敗を決める。ただし優勝戦に限り最終回同点の場合は特別延長戦（タイブレーク）を行う。

<特別延長戦>

- 試合打ち切り時の最終メンバーの打順8番打者を3塁、9番打者を2塁の走者とし、1アウトとして1番打者が打席に入る。
- 1アウト2・3塁でプレーを開始し3アウトまで行う。
- 先攻、後攻と同様に行い得点の多少により勝敗を決する。
- 1イニングのみ行う。
- 後攻チームが3アウトになる前に先攻チームの得点を上回ればその時点で勝負は決する。
- 特別延長戦の結果でも同点の場合は抽選（9人の抽選）で勝敗を決する。

- (5) 3回以降10点差及び、5回以降7点差の場合はコールドゲームとする。5回以降、降雨、日没の場合点差があればコールドゲームとする。同点の場合は抽選(9人の抽選)を行う。5回終了前の場合はノーゲームとする。
- (6) ベンチは組み合わせ番号の若い方を一塁側とする。
- (7) 試合中ダッグアウトに入れるのは選手20名の他、登録した監督、コーチ2名、スコアラーのみとする。監督・コーチはユニフォームを着用し、スコアラーはトレーニングウェアなどスポーティな服装であること。また登録した監督・コーチ以外の指導者が代行する場合は本部に届け出て許可を得ることとする。
- (8) プレー中は監督、コーチはベンチを離れてはならない。
- (9) 次の試合を行うチームは、前の試合が5回終了時に主将が本部へメンバー表3通持参すること。その際に攻守の決定を行う。メンバー表には先発9名以外に当日出場予定の補欠選手全員の名前を記載すること。
- (10) 試合開始予定時刻の30分前に球場に到着すること。ない、試合開始予定時刻になっても到着しないチーム、選手9名が揃わない場合及びチーム登録指導責任者のいないチームは棄権とみなす。ただし、事情により審判、相手チームが認めた場合は試合開催予定時刻15分以内であれば試合を行うことができる。
- (11) 選手、監督、コーチは統一したユニフォームを着用し、選手は金具付きスパイクの使用を禁ずる。
- (12) 選手は0~30までの背番号を着用のこと。主将は10番とする。また、監督は30番、コーチは29番、28番とし、監督代行者は30番とする。
- (13) 雨天で、大会主催側より連絡のない場合は試合を行うものとして必ず球場に集まること。原則として現地で試合の可否判断を行う。
- (14) 支部大会については、本部の指導のもとに大会規定を設けることができる。

3. その他事項

- (1) プレー中の判定は一切審判に任せる。抗議は監督及び該当プレーヤーに限る。
- (2) ストライク・ボール、アウト・セーフの判定に対する抗議は厳禁とする。
- (3) 相手側プレーヤー、審判に対する個人攻撃は厳禁とする。
- (4) 攻撃側は、打者・走者・ベースコーチともにヘルメットを着用すること。
- (5) 捕手はマスク、プロテクター、レガース、捕手用ヘルメットを着けること。
- (6) バットは日本軟式野球連盟公認のものを使用すること。JSBBの記号あり。
- (7) 攻守の交代は少年らしく駆け足で行う。
- (8) 投手が捕手のサインを見るときは必ずプレートについて見ること。
- (9) タイムは1分間を限度とする。ただし、審判が認めればあいはこの限りではな

い。

- (1 0) 監督、捕手が投手の所へ行く回数は、全日本軟式野球連盟のルールに準用する。
- (1 1) 投手は変化球を投げることを禁止する。試合中変化球を投じた場合は反則投球に準じたペナルティーを取る。
- (1 2) グラウンドで起こった負傷等については、主催者は応急処置をする他は一切の責任を持たない。チーム代表者及び保護者がその後に関わる責任を持つこと。指導者はチームの引率その他全てのことについて責任を持ち十分な注意を払うこと。
- (1 3) 投手の投球制限については、健康維持に考慮し、一日七イニングまでとする。三年生以下にあたっては一日五イニングまでとする。投球イニングに端数が生じたときの取り扱いについては三分の一回(アウト一つ)未満の場合であっても、一イニングを投球したものとして数える。
- (1 4) 試合に出場する捕手及びブルペンの捕手はファウルカップを着用すること。

4. 罰則規定

大会の正常なる運営と規律を守るため以下のような問題等が発生した場合、常任理事会で協議を行い出場を取り消しまたは次回大会の参加を認めない。

- (1) 2チームにまたがって二重登録した選手の所属するチーム。
- (2) 連盟規約第3条に基づいた編成以外で、特に大会のために計画的に選手を出場させたチーム。
- (3) 試合途中、試合を放棄したチーム又は、選手、責任者の所属するチーム。
- (4) 大会規約に違反、抵触した場合、その他著しく大会の運営を阻害したと認められた場合。
- (5) その他当該規定で定める事項以外の事案が発生した場合は、大会運営委員、審判員の意見を聴取して常任理事会で決定する。

※令和3年3月1日施行

投手の投球数は1試合70球とする。必ずベンチで投球数を確認する。**厳守**

※コリジョンルール令和1年3月1日施行

小学生が怪我防止のために行う。**(特にホームベースじょうのクロスプレー)**

※コロナウイルス感染症安全確保の為、大会参加のチームは部員がコロナにかかる又は濃厚接触者になれば、支部長に報告し支持を仰いで下さい。

公式戦で会場に到着し、直ちにコロナウイルス感染症関西団地様式を提出しないチームは不戦敗になります。

兵庫支部のホームページから引用してください。**(その他は厳禁)**

6月3日17:30更新

新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言延期のため6月5・6・12・13・19
20日の公式戦は観客（子供を含めて）5名とします。ベンチは監督を含めて3名
・スコアラー1名・熱中症対策を1名、合計5名とします。

分からない時は自己判断で行動しないで支部長に確認して行動をして下さい。